

男女共同参画委員会企画 第10回女性技術者ネットワーク開催報告

化学工学会男女共同参画委員会は女性技術者・研究者が情報ネットワーク作りを行う「女性技術者ネットワーク」という会合を、2012年から継続的に開催しております。第10回目の会合は9月6日（火）12:00～13:00に第48回秋季大会会場の徳島大学常三島キャンパスで行いました。講師には、地元企業である日亜化学工業株式会社 第二部門 商品開発本部 照明LED推進部第一課第一係 三橋沙織様と山口大学大学院創成科学研究科化学系専攻 准教授熊切泉様をお呼び致しました。三橋様からは、マーケティングエンジニアとして働いた米国での海外赴任にて、自分のできることにこだわって自分の知識を活用するとともに情報共有を進め、業務効率を上げたことなどをお話していただきました。また、熊切様からは、勤務されていたノルウェーにて、女性の社会進出が進んでいる理由として企業従業員の女性比率を法律で後押ししたためであること、育児休業をノルウェーでは男性が積極的に取得していること、その期間も日本と比べて長く、取り方もいろいろな形があるとのことのお話しをしていただきました。また、化学工学分野の技術者・研究者の女性比率は、ヨーロッパでは日本に比べて圧倒的に高いことをご紹介いただき、日本でも社会の意識改革により現状も変えることはできると参加者を勇気づけるお話しをしていただきました。

本会合は、徳島大学にて女性研究者の支援を行っているAWAサポートセンターとの共催にて実施し、徳島大学の女子学生、教員のご参加を働きかけていただき、約20名の参加者を徳島大学より得ることができました。学会会期中ということもあり、男女を問わず学会参加者に多数ご参加いただき、総数50名弱にて本会合は行われました。開催後のアンケートから、同じ女性としてやりがいを持って仕事をしている方々の話を聞ける貴重な機会だった、海外での経験、生活に関するお話が大変興味深かった、今後このような機会があればぜひ参加したいのご意見をいただきました。また、男性の男女共同参画社会への意見を知りたいというご意見もいただきました。

11月から本学会は男女共同参画学協会連絡会の幹事学会を拝命しております。国内外の老若男女が共に生きる社会をめざして、学会活動として何ができるか、何を推進するべきか、をしっかりと考えていきたいと心新たに思いました。

尚、次回は、来年度に東京での化学工学会事務局にて開催致します。メルマガ等により開催内容をお知らせ致しますので、ぜひご参加願います。



講師：三橋 沙織様（日亜化学工業株式会社）



講師：熊切 泉様（山口大学）